

「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
芸術	専攻美術	3年	2	

到達目標 ※	造形活動に積極的に取り組み、イメージを形にする技術を養う。多様な個性への理解と創造的な表現力を育てる。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	美術の基本をしっかりと捉えた上で、創造的な表現を引き出す。 合評会やプレゼンテーションを行う。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント
4月	篆刻による判子作り	高麗石を使ってオリジナルの判子を作る。主に持ち手のデザインを重視。最終的には同時に制作している水墨画の掛け軸に押印する。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な取り組み 授業態度。(全課題共通項目) アイデアスケッチ 課題提出 完成カードの記入 	丁寧な作業ができています。
5月	水墨画の書簡作り			水墨画の掛け軸を入れる書簡をデザインする。水墨画作品の絵と関連づけてデザインする。
6月		紙粘土で作るティッシュケース	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 	絵柄とリンクしたデザイン性。
7月	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プレゼンの評価 			作品の完成度
8月		ポスター作り	<ul style="list-style-type: none"> ティッシュケースのデザインし、段ボールの型に紙粘土で肉付けしていく。自由な発想ができるよう、テーマなどを決めて作りこんでいく。最後に作者によるプレゼン。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プレゼンの評価
9月	モダンテクニックを一通り学ぶ。			
10月		モダンテクニックの技法を使用し、自分の選んだ好きな音楽・または映画のポスターを、コラージュを使って制作する。	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 プレゼンの評価 	自分で決めたテーマを上手く表現できている。
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。